

こ^こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかいだいいつかいぜんたいかいぎじようろく
小平市地域自立支援協議会第1回全体会議事要録

【日 時】 ^{れいわがねん} 令和元年 ^{がつ} 5月 ^{にち} 27日 (月) ^{ごご} 午後2時～4時

【会 場】 ^{こだいらしけんこうふくしじむせんたー} 小平市健康福祉事務センター ^{かいだいい} 2階第3・4会議室

【出席者】 ^{しゅつせきしゃ} 13人

【欠席者】 ^{けつせきしゃ} 2人

【傍 聴】 ^{ぼうちょう} 4人 (ほか支援者1人)

【配付資料】

- (1) ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかいだいいつかいぜんたいかいしだい} 小平市地域自立支援協議会第1回全体会次第
 - (2) ^{れいわがねん} 令和元 (2019) 年度 ^{ねんど} ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい} 小平市地域自立支援協議会 ^{いんいちらんひょう} 委員一覧表
(資料1)
 - (3) ^{れいわがねん} 令和元 (2019) 年度 ^{ねんど} ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい} 小平市地域自立支援協議会 ^{かいぎかいさいいちらん} 会議開催一覧
(資料2)
 - (4) ^{へいせい} 平成30年度 ^{ねんど} ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい} 小平市地域自立支援協議会 ^{じつせきほうこく} 実績報告 (案) (資料3)
 - (5) ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい} 小平市地域自立支援協議会 ^{だい} 第4期 ^{とうぎ} 討議 ^{たつせいど} の達成度
(平成30年度まで) (資料4)
 - (6) ^{こだいらしちいきじりつしえんきょうぎかい} 小平市地域自立支援協議会 ^{こんなんじれいていあん} 困難事例提案 ^{なが} の流れ (資料5)
- ^{かんじかい} 幹事会 ^{かこ} における ^{こんなんじれい} 過去の ^{けんとうじあんいちらん} 困難事例の ^{けんさう} 検討事案一覧

(平成30年度第2回幹事会資料)

- (7) 小平市地域自立支援協議会 第1回幹事会開催報告 (資料6)
- (8) 日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の創設に伴う
地域自立支援協議会への報告制度とその対応について (資料7)
- (9) 小平市における医療的ケア児の人数把握に係るアンケート集計のまとめ (資料番号なし)
- (10) 平成31年度第1回相談支援事業所ワーキング記録 (資料番号なし)

【内容】

1 開会

会長より開会が宣言された。

2 委員の交代について(市より)

3人の委員が人事異動により退任したため、後任を2人選任した。

1人については、当面欠員とする。

なお、B委員については、今年度より他校へ転任となったが、今期の委員は継続する。

3 新委員挨拶

新委員より挨拶が行われた。

4 委員及び事務局挨拶

各委員より挨拶が行われた。

5 配付資料の確認

事務局より資料の確認があった。

6 日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の創設に伴う地域

自立支援協議会への報告制度とその対応について

事務局より、資料7に基づき、グループホームの特性、地域自立支援協

議会への報告制度、協議会としての対応(評価の視点、スケジュールな

ど)、他の自治体の先行事例について説明があった。

質疑応答

【M委員】地域の方々への説明、入居者の応募方法や入居の決定の仕方、

介護保険のサービスとの併用についてはどうなっているか。

【事務局】住民説明会は未実施。地域の理解はまだ得ていない状態。入居

に関しては、市や相談支援事業所などへの相談をとおし、事業者が

決定する。小平市在住の方のみではなく、市外在住の方も対象となる。

【E委員】障害福祉計画では、入所施設から地域への移行を推奨している

が、ミニ施設のようなグループホームを作ることとの整合性について

確認したい。

【事務局】現場の声を聴いていると、例えば現状では、体調不良で日中活動

の場へ通所できない場合、グループホームに住んでいても日中は

世話人がいないため、自宅に帰らなければならないなどの課題がある。あらゆるニーズに対応できる場所が必要であると感じる。

【E委員】施設から地域へという流れのなかでこのような新たな施設ができることに違和感があったが、確かに柔軟に対応できる場が必要である。また、障がい者の方が振り回されないよう地域自立支援協議会で精査していくことが必要であると感じた。

【会長】重要な視点である。住み慣れた地域で暮らしていくのが理想だが、現状では家族にしわ寄せが行っている。地域自立支援協議会でもチェック機能として状況を確認していく。

7 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置について

事務局より資料に基づき、関係機関の協議の場「医療的ケア児を支援する連絡会」の設置、参加予定機関、市が実施した医療的ケア児の人数把握に係るアンケートの集計結果について報告があった。話し合う場として、年3回開催を予定している。

質疑応答

【会長】現場の声を大事にしながら、協議の場でなく連絡会から始めていくとのことだが、委員報酬等の費用負担について知りたい。

【事務局】連絡会と称するが協議の場の設置であると捉えている。顔の見える

関係性の構築をめざし、報酬はなしで集まってもらう。少しばかり

り予算があるが、視察や講演会等で有効活用していく。

8 児童発達支援センター検討委員会報告書について

事務局より、資料8及び報告書に基づき説明があった。

質疑応答

【副会長】職員体制等については決まっているか。

【事務局】検討中。職種に関しては、公認心理士などの心理職、言語聴覚士、

作業療法士、理学療法士などの専門職が想定される。

【H委員】サービス量（スケールメリット、規模）や利用人数等について

見通しはあるか。

【事務局】検討中。

【L委員】留意事項3にある自立訓練について、廃止となると市内の自立訓練

の事業所が3か所から2か所に減るのか。

【事務局】あおぞら福祉センターと統合となり、事業所が2か所となる。現在

の利用状況を鑑みると、利用定員でカバーできる。

【G委員】検討委員だったが、今後整備を進めるにあたり、関係機関で連携し

ながら取り組んでいくことを望む。

【D委員】定員だけでなく、通所の保証を検討してほしい。また、報告書6頁

の3にあるトライアングルプロジェクトについて説明してほしい。

【事務局】1点目について、現状では定員を満たしていないので、統合して

も足りるのではないか。2点目についてだが、切れ目のない支援を

行っていくためには、教育と福祉の連携が喫緊の課題となっている

ため、トライアングルプロジェクトを参考にしながら進めていく。

【E委員】たいよう福祉センターは小川西町の地域に根ざした施設である。

その点を鑑みながら進めてほしい。

【事務局】地域での活用はこれまでどおりにしたいと考えている。

9 小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市

障害児福祉計画策定のための実態調査の実施について

事務局より説明があった（資料なし）。

令和元年度は、実態調査を秋に実施する。障がい特性に応じた調査票を

5種類作成し、発達障がいを対象とした調査票を除き、手帳所持者等か

ら3,000人を無作為抽出し郵送配布・回収を行う。障害者差別解消法

や理解啓発に関する設問を、他の自治体を参考に5問程度加えていく。

令和2年度には、次期計画を策定する。素案に対しパブリックコメントを

実施するほか、市民懇談会や知的障がいの方を主な対象とする「わかりや

すい説明会」を開催する予定。

じったいちようさけつかほうこくしょおよびけいかくしょ
実態調査結果報告書及び計画書については、デিজター版も作成していく。

しつぎおとう 質疑応答

でいいいん こだいらししょうがいしゃだんたいれんらくかい じっし しょうがいしゃさべつかいしょうほう かん
【D委員】小平市障害者団体連絡会が実施する障害者差別解消法に関する

あんけーと かんじかい ちいきじりつしえんきょうぎかい
アンケートについては、幹事会において、地域自立支援協議会も

きょうりよく こだいらししょうがいしゃだんたいれんらくかい ちょうさしょ
協力することとなった。小平市障害者団体連絡会で調査書を

さくせい ほうこく
作成し、報告していく。

かいちょう ないよう かくにん ひつよう こうもく よ
【会長】内容を確認し、必要な項目をより良いものにしていく。

ふくかいちょう せいしんしょう しゃ たい あんけーと ちょうさけつか た しょう
【副会長】精神障がい者に対するアンケート調査結果について、他の障がい

ひかく かいしゅうりつ ひく りゆう かいしゅうりつ あ
いと比較し回収率が低いが、その理由と回収率を上げるための

かんが
考えはあるか。

じむきよく びょうじょう かんしん ひく しょう とくせい かんが ゆうこう
【事務局】病状や関心が低いなど障がい特性によるものと考えますが、有効

たいさく とら にん しょう しゃすう あんぶん
な対策はないと捉えている。3,000人を障がい者数で案分する

せいしんしょう すこしうえいと お かんが
のではなく、精神障がいへ少しウエイトを置くことも考えたい。

かいちょう ちいきじりつしえんきょうぎかい あんけーと ちょうさひょう かくにん けんとう
【会長】地域自立支援協議会でも、アンケート調査票を確認し検討してい

きたい。

10 こんなんじれい ていあん なが 10 困難事例の提案の流れについて

あいいいん しりょう およ へいせい ねんどだい かいかんじかいしりょう ちと ほうこく
I委員より、資料5及び平成30年度第2回幹事会資料に基づき報告が
あった。

11 幹事会、部会、ワーキング開催報告

(1) 幹事会

4月15日(月)に開催した第1回幹事会について、I委員より資料6に基づき説明があった。

(2) 地域部会

部会長(副会長)より説明、今年度は年3回開催を予定している。

本日の第1回では、市内4事業所のサービス管理責任者及び相談支援専門員の交流会を初めて開催する。

(3) 当事者・情報部会

4月15日(月)に第1回を開催。I委員より報告、D委員より補足説明があった。

(4) 相談支援ワーキング

4月25日(木)に開催した第1回について、K委員より当日の記録に基づき説明があった。

12 平成30年度小平市地域自立支援協議会実績報告(案)について

H委員より、資料3に基づき報告があった。

【D委員】当事者ワーキングの場所と内容について訂正がある。

【H委員】訂正をするが、訂正後のものを再度配付するかどうかは、事務

きょく けんとう
局で検討する。

13 令和元年度小平市地域自立支援協議会開催日程及び討議テーマについて

れいわがんねんどこだいらしちいきじりつしえんきょうぎかいかいさいについておよ とうぎて ーま
事務局より、資料2の会議開催日程及び討議テーマについて説明があつた。

14 その他

(1) 小平市障害者団体連絡会の差別解消法アンケートの配付・回収・

ぶんせき かん ちいきじりつしえんきょうぎかい かのう はんい きょうりょく
分析に関して、地域自立支援協議会でも可能な範囲で協力していく。

(2) 報告事項

① I委員より、市役所販売について案内あり。

② 事務局より、オリンピックに向けた東京都発行の東京観光
バリアフリー情報ガイドについて、希望者に配付可能と案内あり。

③ H委員より、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の
設置について、進んでない地域があるとの報告。

④ H委員より、小平特別支援学校進路セミナーについて案内あり。

⑤ D委員より、6 / 26 小障連総会・シンポジウム及び当事者
ワーキング部会のチラシについて、完成次第郵送予定。

(3) 情報提供

とく
特になし。

15 今後の予定

- (1) 地域部会 第1回 (拡大会議)

令和元年5月27日 (月) 午後5時～

健康福祉事務センター第3・4会議室 (2階)

サービス管理責任者、相談支援専門員の交流会

- (2) 当事者・情報部会ワーキング

令和元年7月20日 (土) 午後1時30分～3時30分

中央公民館

- (3) 相談支援ワーキング

令和元年7月23日 (火) 午前10時～正午

健康福祉事務センター第3・4会議室 (2階)

- (4) 当事者・情報部会

令和元年7月26日 (金) 午前10時～正午

健康福祉事務センター第3・4会議室 (2階)

- (5) 幹事会 第2回

令和元年7月26日 (金) 午後2時～4時

健康福祉事務センター第3・4会議室 (2階)

16 閉会